

自己評価表 2023年度

【評価の基準】

- ：一人でできている(下位者に教えることができるレベル含む)
- ×：できていない(常に上位者・周囲の助けが必要なレベル)
- /：今期の職務に当てはまらない

※自己評価表は、給与を査定するものではありません。

自身を振り返るために活用してください。

能力ユニット	能力細目	職務遂行のための基準	自己評価		
			○	×	/
倫理規定とコンプライアンス	①事前準備	法人の理念や諸規程、組織に関する基本事項、スタッフとしての職業倫理、各種制度内容やサービス内容について把握している。	24	7	0
	②倫理及び、法令遵守	スタッフとしての自覚を持ち、倫理や守秘義務等の諸ルールを遵守した行動を取っている。	27	6	0
チームワークとコミュニケーション	①スタッフ同士の連携	適切に報告・連絡・相談し、サービス品質の向上に努め、他スタッフとも連携・協力しながら業務を遂行している。	28	5	0
	②他部門との連携	各部門の業務内容や自部門との連携の重要性を理解し、必要に応じて良好な連携をとっている。	26	7	0
地域との連携	①地域の行事への参加	地域の行事に積極的に参加し、地域との連携につながっている。	27	6	0
スキルの向上	①目標設定	法人の方針、スキルレベルの向上などに対して助言や指導を受けて、各自で目標設定している。	23	10	0
	②進捗管理	自らが立てた目標の達成に向けて、各種勉強会や研修会に積極的に参加し、スキルの向上に努めている。	24	9	0
	③成果の検証	目標の達成度について、結果だけでなく結果までの経緯も検証し、次の目標設定に活かしている。	24	9	0
利用者の安全確保、トラブルの未然防止	①リスクの理解	想定されるリスクを理解し、問題を未然に防ぐため、法人が講じている施策を理解している。	26	7	0
	②安全確保のための対応	利用者情報を理解して業務に取り組んでいる。	33	0	0
		起こりそうなリスクや起きてしまったトラブル、ヒヤリ・ハットを適切に報告・連絡・相談しているほか、安全確保に気を配り、活動できている。	27	6	0

【訪問介護】

能力ユニット	能力細目	職務遂行のための基準	自己評価		
			○	×	/
初回サービスのための準備	利用者基本情報の把握とサービスの実施、手順の確認	基本情報やケアの手順・留意点等の事項、不明な点や疑問点を確認し、重要なポイントや曖昧な事はメモをし業務を遂行できるよう留意している。	28	5	
		手順書に基づき確実に確認し、サービス提供責任者または同行スタッフの指導のもと、サービス実施手順を確実に確認し、引き継ぎを受けている。	27	6	
訪問介護サービスの実施	①介護サービス実施のための事前準備	利用者の状況や留意点について、ミーティングやグループライン等で適切に申し受け・申し送りをを行い、これを踏まえてサービスを提供している。	27	6	
		動きやすい、失礼にあたらぬ、清潔である等、基準に沿った服装・身だしなみをし、必要な物品(筆記用具、グローブ等)を確実に準備している。	33	0	
		利用者宅までの移動手段、移動時間を事前に確認し、余裕を持って到着するようにしている。	33	0	
		感染症予防のため、サービス開始前(排せつ介助、外出後、調理前等)に手指の消毒をするなど、対応を行っている。	33	0	
	②サービス実施	利用者のニーズや状況の変化に対応して、決められた内容のサービスを限られた時間内で段取り良く、効率的・効果的に実施している。	33	0	
		利用者の異変について見落とさず、緊急事態や異変が発生した場合は、ルールに基づき、迅速・適確に利用者や家族に対し冷静な態度で不安を与えることなく対応し、サービス提供責任者に相談・提案できる。	27	5	1
		介護職として関わり方の基本を踏まえ、利用者のニーズや思い、家族の抱える悩みや介護負担等を理解し、適切に対応している。	27	5	1
		何でもスタッフがやってあげるのではなく、利用者とともにできることを探す等、自立を促すチャンスを見つけ、自立に向けた意欲(自分でやろうとする楽しみ等)を引き出せるよう、働きかけを行っている。	28	5	
	③サービス実施後の記録・報告	記録の必要性を理解し、介護の方法、根拠、状況等がわかるように、サービスの実施記録を記入し、所定の期日までに事業所に提出している。	33	0	
		利用者の体調の変化、異変、利用者の予定の変更等があった場合は、サービス提供責任者や事務所に確実に連絡・相談・報告をしている。	33	0	
サービスの検証	サービスの振り返り、自己評価	ミーティングや報告・相談等の機会を利用して、提供したサービスの内容や、ケアのやり方について検証し、利用者情報の報告・連絡・相談の徹底など、周囲と連携して取り組み、自身のサービスの質の向上・改善に努めている。	30	2	1
利用者への情報提供	利用者に対する情報提供・介護に関する利用者からの相談に対する対応	利用者や家族に対して、法人のサービスや地域社会資源の状況についての、必要な情報提供を行い、答えられないことや、わからないことには、その旨を相談者に伝え、正確な情報を確認後伝えている。	31	2	
		日頃から、利用者や家族との相談窓口として、気軽に相談しやすい雰囲気を作り、親身になって対応し、利用者からの相談内容は、事業所に正確に報告をし、橋渡しを適切にしている。	32	1	

【訪問介護(技術1)】

能力ユニット	能力細目	職務遂行のための基準	自己評価		
			○	×	/
サービスの実施(掃除)	①掃除準備	掃除開始の声をかける等、適切なコミュニケーションをとり、壊れそうな用具がある場合、声をかけをし、壊れ物・貴重品は移動させる等、掃除がしやすい状態にし、利用者の転倒等、安全に配慮した対応をしている。	30	1	2
		掃除の際の音、埃、臭い等、利用者の快適性や、ほこりの立たない場所へ移動してもらう等、快適性に配慮している。	30	1	2
	②掃除	手順書に基づいて、時間内に決められた掃除を、決められた道具を使い、決められた手順でサービスを実施し、制度内でできないことを依頼された場合は、利用者へ十分な説明を行い、理解を得ている。	31	1	1
		掃除終了後は、手洗いを確実にするなど、衛生面に留意し、使用した掃除用具や移動させた物等を元の場所に確実に戻して、開けた窓は閉め、転倒等安全に気をつけながら、利用者を元の場所に移動させ、快適に過ごせるよう配慮している。	32	0	1

自己評価表 2023年度

【評価の基準】

- ：一人でできている(下位者に教えることができるレベル含む)
- ×：できていない(常に上位者・周囲の助けが必要なレベル)
- /：今期の職務に当てはまらない

※自己評価表は、給与を査定するものではありません。

自身を振り返るために活用してください。

サービスの実施 (買い物代行)	買物代行	利用者が希望する購入品を確認し、メモを取るなど正確を期して、金銭授受は正確・確実にやっている。	31	1	1
		買物は正確かつスピーディにやっている。	31	1	1
		買い物用紙を記入し、レシート・領収証を受領し、適切な方法で精算を行っている。	31	1	1
サービスの実施 (調理)	①調理準備	衛生面に気をつけて身支度、手洗い、調理器具や食器等の衛生面に留意をし、効率よく調理が行えるように準備し、賞味期限の切れた食材等が保存してある場合、利用者に声かけをしている。	24	0	9
	②調理	好みの味付けを確認するとともに、味をみてもらい、味付けの調整を適切に行い、食べやすさを考慮して、時間内に調理することができる。	23	1	9
	③後片づけ	使用した物品を洗い乾燥させ、元の場所に戻し、ガスの元栓等を確認、ゴミの処理を適切に行い、手洗いを確実に行う等、衛生面に留意している。	23	1	9
サービスの実施 (洗濯)	①洗濯準備	洗濯機の点検を事前に行い、不具合がある場合は、利用者に声かけをしている。	22	2	9
		洗濯に必要な用具、洗剤等を準備し、破損箇所がないか、ポケットの中や取り外した方が良い付属品はないか等をチェックし、効率よく洗濯できるような仕分けや準備を行っている。	24	0	9
	②洗濯	洗濯物の汚れ具合を確認し、必要に応じて部分洗いや下洗いを適切に行い、洗濯物の量、汚れ等から、利用者の身体状況の変化を観察し、必要に応じて適切な対応を行っている。	23	1	9
	③乾燥・収納	洗濯物に汚れが残っていないかを確認し、なるべくシワにならないように干し、洗濯に使った用具等は、元の場所に確実に戻している。	24	0	9
		洗濯物を取り込み、たんで決められた場所に収納し、乾いていない場合には、利用者に確認し、その状況に合わせた対応をしている。	22	1	10

【訪問介護(技術2)】

能力ユニット	能力細目	職務遂行のための基準	自己評価		
			○	×	/
サービスの実施 (移動・移乗介助、 体位交換、 外出介助)	①移動・移乗の準備	必要な福祉用具(車イス、杖、補装具、歩行器等)の扱い方に関する基礎知識を有し、点検・準備を確実にやっている。	24	1	8
		利用者に移動・移乗の行き先、方法等について声かけをし、移動ルートを確認し、安全に移動できるよう配慮している。	25	0	8
	②移動・移乗	自力での安全確認ができない利用者、歩行困難な利用者、麻痺や拘縮がある利用者等の身体状況、および使用する福祉用具に応じて、適切で安全な移動・移乗介助を行っている。	23	1	9
		移動のペースが合っているか、身体状況に合った介助になっているか、不安はないか等、声かけ・観察により確認しながら、適切に行っている。	24	0	9
	③体位交換	利用者に負担のない方法で体位交換を行い、褥瘡など観察をして異常を発見した場合には報告する等の対応を行っている。	25	0	8
	④通院・外出介助	利用者が希望する通院・外出を確認し、制度上のサービスとの関係を理解し、内容を確認した上で、これに則った通院・外出介助を行っている。	25	0	8
移動ルートを確認し、利用者の安全確保を適切に行い、介助の際、利用者への声かけや安全面での確認を確実にやっている。		25	0	8	
⑤移動・移乗後の介助	移動で使用した福祉用具の安全確認の点検を行い、所定の場所に確実に戻し、外出から戻ったあと、体調確認、水分補給等を行っている。	25	0	8	
サービスの実施 (食事介助)	①食事の準備	衛生面に気をつけて、手洗い、身支度を確実にやり、必要な道具等について、清潔を確認した上で確実に用意している。	26	0	7
		体調、食欲、口腔内の状況、義歯の有無等、身体状況に合わせて食べやすいように食器や料理を確認し、食べやすい状態にしている。	26	0	7
		食事をする場所へ移動させ、ベッドを丁度良い高さにギャッジアップする、クッションを使う等、利用者が食べやすく安全・安楽な姿勢にしている。	25	0	8
	②食事介助	食事をとる雰囲気づくりを心掛け、食べたい順番や好み、熱すぎないか等、声かけ・確認しながら、介助を行い、常に体調変化、嚥下・咀嚼の状況を確認し、安全に気をつけている。	14	0	19
		寝たきりや全介助の利用者、視力障害の利用者等に対して、嚥下・咀嚼状態やペースに合わせて、安全に食事介助を行い、必要に応じて、口元まで食べ物を運んだり、食べ物を食べやすい状態にする等の援助を適切に行っている。	11	0	22
		食べ物が気道に詰まった場合の除去等、基本的な対応方法にしたがって、適切に行っている。	13	0	20
③食後の介助	口腔ケア等、食事後のケアを適切に行い、食後しばらくは、安全・安楽な姿勢で、消化しやすい姿勢を保つよう気をつけている。	13	0	20	
	使用した食器等を元の場所に確実に片づけ、残った食事の廃棄または保存場所等を確認した上で適切に行い、必要があれば、利用者の摂取した食事・水分の量を確認し、正確に記録している。	26	1	7	
サービスの実施 (入浴介助)	①入浴準備	利用者の入浴の意向、および身体状況(体温、顔色、皮膚の状態等)の異常の有無を確認している。	9	0	24
		浴槽の清潔を確認し、湯温・室温を調整し、入浴に必要な物品・福祉用具・着替えやタオルの準備等、入浴のための準備を適確に行っている。	9	0	24
		入浴前に排泄の確認をし、利用者を浴室に安全に誘導、声かけを行いながら、衣服の脱衣介助を適切に行っている。	9	0	24
	②入浴	利用者の羞恥心やプライバシーに十分配慮し、湯温やシャワーの温度、室温等、快適性に常に気を配り、安全に配慮するとともに、体調変化等、異常を発見した場合には報告する等必要に応じて適切な対応を行っている。	9	0	24
		洗体、洗髪、洗顔等、基本的な洗い方の知識を有し、皮膚や頭皮の状態等に合わせて、適切な手順や方法で介助を行っている。	9	0	24
		座位、立位の保持が不安定な利用者や、視覚障害の利用者に対して、入浴への声かけ・誘導や見守りを安全に行っている。	9	0	24
	③入浴後の介助	体調に変化がないか確認するとともに、水分補給、休息等を促し、湯冷めしないように留意し、声かけを行いながら、体を拭き、着衣、髪を乾かし整髪を行う等の一連の介助を適切に行い、浴室から居室に安全に誘導している。	10	0	23
		使用した用具を洗い、元の場所に収納し、片づけ方や湯の処理のしかたについては、確認する。	9	0	24
		①更衣介助	脱衣介助の際、利用者の羞恥心に配慮し、身体機能や症状に合わせた更衣介助の方法を選択できる。	15	0
②整容介助	利用者の意向を確認しながら、洗顔、整髪等の介助を適切に行っている。	14	0	19	

自己評価表 2023年度

【評価の基準】

- ：一人でできている(下位者に教えることができるレベル含む)
- ×：できていない(常に上位者・周囲の助けが必要なレベル)
- /：今期の職務に当てはまらない

※自己評価表は、給与を査定するものではありません。

自身を振り返るために活用してください。

サービスの実施 (身体整容)	③口腔ケア	口腔ケアに必要な物品を準備し、口腔内に異常がないか、口腔周囲の機能に変化がないかに注意し、義歯を用いている利用者については、必要に応じて義歯を外し、汚れ、破損等を確認したうえで、決められた手順で洗浄を行い、問題を発見した場合には報告している。	8	0	25
		自力でうがいができる利用者に対しては、声かけを行いながら、自力でうがいを行ってもらい、寝たきりや全介助、嚥下障害、認知症の利用者等うがいできない利用者について、専用物品等を用いて口腔内を清潔に拭いている。	8	0	25
サービスの実施 (排泄介助)	①排泄準備	衛生面に気をつけ、手洗い等、必要な身支度を確実にし、感染予防のためのグローブを着用する。	9	0	24
		オムツ交換は、オムツ、タオル等の必要な物品の準備、ポータブルトイレ使用時は、場所・配置を確認し、麻痺のある場合は、健側に置く。	9	0	24
		トイレ・ポータブルトイレの場合は、声かけをし、通路の確認をし、安全にトイレ誘導を行っている。	6	0	27
	②排泄	利用者の羞恥心やプライバシーに配慮しながら、声かけ、見守りを行い、排泄の有無を確認し、排泄物の量や形状等から身体状況を確認し、異常を発見した場合には報告する等必要に応じて適切な対応を行っている。	9	0	24
		陰部洗浄、臀部洗浄を適切に行い、汚れが残らないように清拭をし、利用者に違和感がないように新しいオムツ等を装着している。	9	0	24
		麻痺や拘縮があつて腰を上げられない利用者に対して、一通りの排泄介助を行い、皮膚や排泄物の状態、下着の汚れ等から、健康状態を観察し、適切に対応している。	9	0	24
	③排泄後の介助	排泄物の処理を適切に行い、部屋の換気に配慮し、排泄終了後は、手洗いを確実にし、衛生面に留意している。	9	0	24
トイレ・ポータブルトイレの場合は、声かけをし、通路の確認をし、安全にベッドまで誘導を行っている。		9	0	24	